

第7回中野市保育所あり方検討懇話会会議録（要旨）

日 時	令和3年1月29日（金） 14:00～15:10
会 場	市役所会議室 43
出席者	<p>小林芳文委員、片所年子委員、樺澤一夫委員、小野良一委員、中嶋祐子委員 松矢美知委員、黒岩文子委員、富岡幸子委員 8名（欠席：宮澤栄一委員、岡村将翔委員、高木さやか委員、町田真里子委員）</p> <p>【アドバイザー】太田光洋先生</p> <p>【事務局】 子ども部長 小林由美、保育課長 戸田修三、課長補佐兼保育係長 堀米一志、 施設係長 豊田正樹、施設係 高藤直樹 5名 計14名</p>
内 容	<p>開会</p> <p>協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中野市保育所あり方検討懇話会提言書（案）について 事務局説明 <p>（委員）</p> <p>新型コロナウイルスについて書き加えてあるが、少子化の加速は、はたして新型コロナウイルスが原因ということになるのかどうか、私はもっと深い根本的な原因、若い人たちが結婚したくてもできない社会的な要因があるような気がしている。少子化は確かに進んでいるので、何らかの影響でと書き加えるのはいいが、少し、ひっかかりはした。このままでも良いが、13.3%という統計がでていないなかで、そこがまず一点。</p> <p>もう一点は、提言書としてみると、文章が長い。委員だから読んだが提言書として出した時に、ポイントだけ目がつくような工夫ができないかどうか。例えば、行の上の部分をごシックにするとか、内容的に適正規模の問題、統廃合の問題、民営化のメリット、デメリットとか検討すべき事項にいくつかのドロップがあるので、わかるような括りにしてもらったほうが、読む人は分かりやすい。</p> <p>（委員）</p> <p>全体に皆さんで検討したことが盛り込まれていて良い。</p> <p>子ども達が育つ適正規模は、30人で決まっているから、それが適正規模なのか、子どもが育ちやすいのが適正規模なのか。</p> <p>最近ではコロナのことで小規模学級のことが出ているが、保育園はまさにそうである。</p> <p>コロナで半分園児が休んだ時は、非常に保育しやすかった。園児が少数でも、</p>

保育士をきちんと配置し、子ども達をよく見ることができた。

少人数保育を実践できたので、30人、20人を当たり前と思わず、検討してもらうことを盛り込むとありがたい。

文章が長いので、テーマ別にまとめるのが大事だと思う。

(委員)

アドバイザーの先生が、まとめてくれたカラーの資料がある。あそこまでカジュアルにしなくても良いが、分かりやすかった印象がある。

(事務局)

見出しの文字、数字を大きくしたり、書体を変えてみたり、意見を枠で囲ってみたり工夫をして整理したい。

提言の内容はどうか。

(委員)

長丘保育園は統合することで良いか。

また、ここで閉園するということが良いか。

(事務局)

あくまで、懇話会の提言ということでお示しいただければと思います。今後、一歩進んだ検討（議論）ができる。

4ページの保育所の適正規模及び適正配置について、長丘、永田、豊井の三園がひとつになると読まれる可能性がある。

小学校区ごとの統廃合を進めるという表現だとか、その下の部分で、通園の利便性及び小学校区を基本にとあるので、しっかり読んでもらえればと思うが、どうか。

(アドバイザー)

それぞれ、「小学校区ごとに統廃合」というように入れたほうが、わかりやすい。

(委員)

3ページの上のほうに都会でも株式会社で参入した保育所が閉園になっている、民間といっても対象になる候補者は慎重に考えるということで、できれば中野地域をあまり離れない、良く知っている法人が良い。

東京にある株式会社があるが、全国に広がっているが、定着していない。

(事務局)

3ページは各委員の意見をまとめた部分になるので、そこに付け加えるかたちで良いか。

(事務局)

実際、公募する時には、条件を付していくので、これはあくまで慎重にということですが。

(委員)

できれば、公立で頑張って、公立で造るのが、本当だと思っている。

公立が多様な保育をやるようになって、乳児、延長保育が制度にしっかりのつた。公立がしっかりやる必要があると思っている。

公立に頑張ってもらわないと民間はもっと悪くなってしまう。

(アドバイザー)

いまの意見に対応した提言で、事業者の選定について、5ページの①から⑦のところは候補者の選定について何か一文を入れると良いと思う。

(事務局)

ご指摘のとおり、⑧として入れるのが良いと思うが、「民間事業者の選定にあたっては地域の実情を把握し、継続的な運営ができる者とする」というような表現でどうか。

(アドバイザー)

④と⑤の間に入れてはどうか。

(委員)

保育ニーズを的確に把握するという一方で、市民の声を反映させますという書き方がされているが、実際にどう進めるのか具体的にほしい。

コロナ禍で直接、対話する機会がなく、保護者の意見を吸い上げてもらう機会がほとんどなかった。今の時代からいうとオンライン等、気軽に意見を言える場所を作り、思っている事を簡単に皆さんに伝えるツールを用意できれば、リアルタイムに意見を吸収しやすい。

スマホ専用のサイトを表示したり、若いお母さんは、スマホですぐ調べたりするので意見を吸い上げてもらえる道筋が見えれば、積極的に参加しやすい。

PDFは、スマホで見ると見づらいので、資料を見やすくする方法を検討してもらいたい。

サイトも、市のトーンに合わせるのではなく、子どもも楽しめるポップな感じで子どものことを考えているPRも含め、サイトを作れば多く方が気にかけてくれる。

市のフェイスブックと連携すればアクセスしやすく、つながって、拡散していくと思う。情報発信の仕方も考えてほしい。

(委員)

各保育園もホームページをもっており、情報を出している。若いお母さんも、スマホで調べてくる方も多い、今の方はそういうことに慣れているので、それに対応していくことも大事。

(事務局)

その都度、「保育ニーズを的確に把握し、サービス拡大を図っていくべきである」という提言をいただいている。保育所整備計画策定のなかで情報発信の流れをつくっていく形でよろしいか。整備計画の方へ具体的に反映していく表現にしたい。

(アドバイザー)

5ページのその他合理的な組織運営及び保育サービスの充実に関する事項の「的確に把握し」、というところをもう少し踏み込んで、把握する仕組みづくりとかツールを工夫するみたいな言葉を入れておくと具体的になる。「人数を的確に把握する、仕組みづくりやツールを工夫し」、というような表現が良い。

(委員)

去年、待機児童の問題で、未満児が増えている社会的な状況がある。それで未満児を受け入れる枠を増やそうとしているが、良く考えるとお母さんが働かなくて良い環境を整えられれば、一番良い保育士が三歳までみられることになる。

三歳まで預かる施設を増やすより、三歳まで安心して子育てができるような制度を考えていくほうが筋ではないかという気がしている。

提言には入れられないが、方向性として温めておく必要がある。

(委員)

理想としてはすばらしいと思う。現実には働きたい、自分の力で社会に進出したいお母さんがいて、それで無認可の保育園を造った。

今は、両親が働かなくては生活できない方が増えた。土曜日保育も多い。様々な家庭があるということで、理想は高めながらも、今すぐでも救っていかねばいけないところもあると思う。

親の状況も大変。中野市は就労率が一番高く、厳しいと思う。

昔は、近所中で子守をしていた。子育てを継承する下地があった。今は、親と子、一対一で、アパートでという状態のなか、私は早く保育園にきたほうが良いと思っている。

保育園は、母親が家にいても、たとえわずかな時間でも、お母さんが子育てを学ぶ場、子どもは友達と遊ぶ場と思っている。

お母さんは大事だけど、本当に良いお母さんになれるような子育て支援がこれから求められていくのではと思う。

(アドバイザー)

選択肢があったほうが良いという事。家で育てたい人、園に預けたい人は預けるといった、選択肢が大事。

婚姻率の低下の件について、婚姻率だけではなく、産み控えといった部分も関係があるので、婚姻率の低下に限定しすぎないほうが良い。新型コロナウイルス感染症の影響も含めて、少子化が加速しているという表現が良いかと思う。

結婚していても、今は、子どもを産むのは待とう、という人が結構いると思う。

(委員)

コロナ禍だったから婚姻者が少ないのか、コロナが終息すれば、また増えるのか、わからない。

(アドバイザー)

新型コロナで国も自治体も結構、借金が増え、それを取り戻さなくてはいけなくなる。経済的には少し時間がかかる可能性があるので、子どもをたくさん持つという選択はなかなか厳しい時期が続くかもしれない。

(事務局)

議論、ご指摘いただいた。これに関し、大筋の部分については異議がないということと解釈している。

よろしければ、修正箇所について、会長、アドバイザーのご協力をいただき、確認後、決定とさせていただきたい。

「各委員承諾」

その他について

(事務局)

提言書の修正、確認、その後、提言の報告となる。

報告について、2月3日、午後4時、会長、副会長にご出席いただき、市長へ提言の報告をしたいと考えている。

(委員)

修正した提言書を、各委員にも送ってほしい。

(事務局)

送らせていただく予定です。

(事務局)

昨年2月19日の第1回から、コロナ禍という異常事態のなか、無事、提言書を報告できる段階となった。

	提言については、保育所整備計画に反映させていくので、よろしくお願いいたします。
--	---

閉会